

社協だより

主な内容

- クリスマス会
- 赤い羽根共同募金
- 民生児童委員協議会の活動
- 本郷コーナー他

クリスマス会を行いました ～子育てサロン～



12月19日の子育てサロンで

クリスマス会を行い、12組の親子が参加しました。小さなサンタやかわいいトナカイの衣装を着て参加してくれた子どもがたくさん！スタッフの方が癒されました。

会ではお話を読んでもらったり、音楽に合わせて遊ぶなど、楽しい一時を過ごしました。サンタさんが登場すると大興奮で、一人ずつプレゼントを受け取り、とても嬉しそうにしていました。

茶話会ではお母さんたちがデコレーションしたクリスマスケーキを食べ、今年度も楽しいクリスマス会になりました。

子育てサロンではこれからも親子で楽しんだり、保護者の方がほっとできるような居場所づくりをしていきます。おじいちゃん、おばあちゃん、妊婦さんなどの参加もお待ちしていますので、ぜひご参加ください。



赤い羽根共同募金 ~ご協力ありがとうございました~

10月1日から赤い羽根共同募金運動を行いました。12月末までに様々な募金活動が行われ、各世帯や店舗、事業所などたくさんの方にご協力いただき、実績額1,438,560円と多くの募金が集まりました。集まった募金は、令和7年度に町内の様々な福祉活動に役立てられます。赤い羽根共同募金運動にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

イベント募金 ~TERRACEに出店~



11月3日に役場庁舎で行われた、島留学生主催による「TERRACE」に出店し、募金箱も置かせていただきました。社会福祉協議会としては、今回初の出店でくじ引きとガチャガチャを行いました。多くの方にお越しいただき、中には目当ての景品を当てるまで何度も挑戦する子どもたちの姿もありました！

今回皆様から集められた募金は子育てサロンをはじめ、西ノ島町内の各事業に配分されます。ご協力ありがとうございました。



学校募金 ~西ノ島小中学校~

11月26日の全校朝礼で小中学生向けの説明会を行いました。赤い羽根共同募金が町内でどのように使われているか、今年は募金をいくら集めるかなどについてお話させていただきました。子どもたちの真剣な眼差しが印象的で、とても嬉しく思いました。



12月11日には、子どもたちが一生懸命集めてくれた募金を、社会福祉協議会の扇谷会長が受け取りました。子どもたちから、「西ノ島を幸せな町にして欲しい」、「一人ひとりの力は小さくても、みんなで協力すれば、大きな力になると感じた」という言葉をもらい、身が引き締まる想いでした。これからも、西ノ島の暮らしを良くしていけるように、募金活動に取り組んでいきます。ご協力ありがとうございました。



義援金の報告とお礼

令和6年能登豪雨災害義援金

68,856円

(令和6年8月8日~9月30日)

集まった義援金は、石川県の義援金配分委員会が配分を決定し、各市町を通じて被災者へ配分されます。皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

◆◆ 新任職員紹介 ◆◆

みずき けいこ

事務員 **水城 慶子** (R6.12.1付)



九州から来ました水城です。福祉現場で働くのは初めてでわからないことばかりですが、西ノ島の地域福祉へ貢献できるよう頑張ります。

民生児童委員協議会活動紹介

おそばを配りました



12月23日、恒例行事である「おそば配食」が行われ80歳以上の一人暮らしの方と夫婦共に80歳以上の世帯に合わせて214食をお届けしました。「誰かに見守られている安心感」も一緒にお届け出来るよう今後も活動していきたいと思えます。

シオンこども園との交流



1月29日、シオンこども園の子どもたちと交流を行いました。一緒に歌を歌ったり、ベルでキラキラ星を演奏したり、元気いっぱいのかわいい子どもたちと触れ合うことで、民生児童委員にとっても心がなごむ時間になりました。

エンディングノート勉強会

12月4日の定例会にて、健康福祉課の堀江攝八氏を講師にお招きし、「エンディングノート」についての勉強会を行いました。西ノ島町版エンディングノートの「MeLifノート」は、自身の人生を振り返るとともに、今後老いていく中で、どのような生活を送りたいか、どのように送り出して欲しいか等という想いを書き記すものです。勉強会では自分が大事にしている価値観を言葉にすること、他の人の価値観を聴くことで、自分が最後にどうありたいかを考えたり、家族で話し合うことの大切さに気づききっかけとなりました。



男の料理教室開催 ～高齢者クラブ～



1月28日、テレワークオフィスにおいて高齢者クラブ連合会主催の「男の料理教室」が開催され、会員7名が参加しました。

「男性でも簡単な料理ぐらいはできたほうがいい」という会員の声から行われたもので、今年で3回目の開催になりました。健康福祉課の管理栄養士や食生活改善推進協議会の方のご指導のもと、すき焼き煮等栄養バランスを考えた献立3品を調理しました。

材料が多く、少し手間のかかる献立もありましたが、あっという間に完成し、みんなて試食をしました。「おいしいので家でも作ってみたい」という感想が聞かれました。



高齢者クラブ会員募集中

町内には6つのクラブが活動しています。ご興味のある方は社協(6-1470)までお問い合わせください。

職場体験を受入れました

11月19日から22日までの4日間、西ノ島中学2年生の生徒1名が社協と本郷小規模多機能型居宅介護事業所で職場体験を行いました。

社協では配食見守りサービスの準備や子育てサロンへの参加、訪問介護等を体験しました。また本郷ではデイサービスの利用者さんと一緒にゲームや体操、見守り等の介護の補助を行いました。初めは緊張した様子も見られましたが、訪問先や本郷でも一生懸命に仕事をし、利用者さんから喜ばれました。

今回の体験について「一人一人のことを思ってその人にあっただ対応をしていることが大変だと思った。貴重な体験だった」という感想が聞かれました。



ふれあいセンター 地域応援隊の集い

2月3日、住民同士の助け合いのボランティア活動を行っている「地域応援隊の集い」を開催しました。

最初に、社会福祉協議会の生活支援コーディネーターから、西ノ島町の人口や高齢化率等の説明があり、「人口減少の中、地域の方の力や知恵を少しずつ持ち寄って支え合いのまちづくりに取り組んでいく必要がある」というお話がありました。その後、現況報告や今後の取り組みに向けて意見交換を行いました。

今年度は、8名の地域応援隊が、地域で支援を必要とする人たちの要望に応じ、やりがいを感じながらいきいきと活動しています。

ふれあいセンターでは、自分の得意なことを活かして、地域の力になりたい方を募集しています。

また、草取り、家の掃除、ゴミ捨て、その他にも地域応援隊に協力してもらいたいことがあれば、ご相談ください。

【利用料】：30分/600円 1時間/1,200円 ※別途交通費必要

【活動費】：30分/550円 1時間/1,100円 ※別途交通費支給



QRコードからでも
地域応援隊の申し
込みが出来ます。



**【西ノ島町ふれあいセンター】
(社会福祉協議会内)**

電話：(08514)-6-1470

FAX：(08514)-6-0082

本郷コーナー

本郷は小規模多機能型居宅介護事業所として、通いや訪問、泊りを組み合わせて西ノ島町内の高齢の方の在宅生活を支援しています。こじんまりとした、とてもアットホームな施設で、お一人お一人の生活に合わせたサービスを提供し、住み慣れた自宅で生活したいというお気持ちに寄り添っています。

子どもたちとの交流を行ったり、町内のイベントにも参加しています



西ノ島小学校の民謡クラブや3年生との交流



浦郷地区ゆらひめ倶楽部の
クリスマスパーティーに参加

介護の資を向上させるための職員研修

利用者さんが料理の先生です！

島前病院のリハビリ職の方に
来て指導していただきました



切り干し大根や煮しめづくり